

た よ り



〒518-0814 伊賀市上友生785番地

TEL&FAX; 0595 (21) 8839

URL:<http://www.iga.ed.jp/igaken>

E-mail:iga-ken@iga.ed.jp

2022年度も折り返し♪～いよいよ10月へ～

早いもので、今日で9月も終わります。9月中旬までは大変暑い日が続きましたが、台風14号の通過後、朝晩はすっかり涼しくなり、秋の深まりを感じる日々となりました。

台風の接近による影響が心配されましたが、17日(土)に予定されていた運動会(体育発表会)を無事実施できたと聞きました。順延が大変厳しい状況でしたので、空模様や台風情報に大変気をもまれたことだと思います。17日(土)に照準を合わせてきた子どもたちの気持ちを考えると実施できてよかったなあとつくづく思いました。

日本列島を横断していった台風14号は各地に大きな被害を与えました。伊賀市においても自主避難所が開設され、いくつかの学校施設もその対象となりました。

今後も台風の発生が予想されますが、危機管理を再確認するとともに、あらゆる場面を想定し、いかなる時も安全確保することを肝に銘じておきたいと考えています。



主体的に活動することで大きな成長♪

2学期になり、学校行事や校外学習などが、各学校・園において実施されています。新型コロナウイルス感染拡大防止や熱中症対策にしっかりと取り組みながら、子どもたちが主体的に活動することを大事にし、つながりを深める時間にされていることや、保護者の方々へ子どもたちの頑張りを見ていただく機会にされていることを実感しています。



ホームページや学校・園だよりで紹介された様々な活動を通して、子どもたちが意欲的に取り組み、成長していく姿を感じ取ることができました。子どもたちが楽しみにしている学校行事。コロナ禍であっても、工夫しながら創り上げていく過程を大事にし、意義ある活動が展開されていることをうれしく感じました。今後、実施される学校行事や教育活動も有意義なものになることを楽しみにしています。

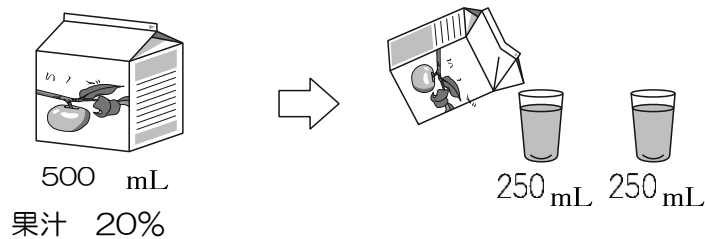
※ 9月～11月にかけて15小学校の修学旅行(9月1校、10月13校、11月1校)が予定されています。無事実施でき、実り多き旅になることを願っています。

「全国学力調査問題」から「授業」を考える・・・♪

前号で、伊賀市学力向上プロジェクト委員会において話し合われたことをお伝えしましたが、その中で森脇教授から示された「問題」の一つを紹介します。

小学校算数の問題で正答率が最も低かったのが「果汁が25%含まれている飲み物の量を基にしたときの、果汁の量の割合を分数で表す」(問題の概要)でした。問題文を以下に記載します。 *正答率は伊賀市 21.9%(全国 21.4%)

- (3) りんごの果汁が20%ふくまれている飲み物が500mLあります。
この飲み物を2人で等しく分けると、1人分は250mLになります。



250mLの飲み物にふくまれている果汁の割合について、次のようにまとめます。

250mLは、500mLの $\frac{1}{2}$ の量です。

このとき、

①

上の①にあてはまる文を、下の1から3までの中から1つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合も $\frac{1}{2}$ になります。
- 2 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合は2倍になります。
- 3 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になっても、果汁の割合は変わりません。

この問題は、果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの、果汁の割合について正しいものを選ぶという問題です。日常の具体的な場面に対応させながら割合について理解できるようにすることが大切であり、示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解しているかどうか問われています。

ご講演いただいた森脇さんから、「児童の誤答をどう把握しますか？そして対応策をどう考えますか？」という提起がありました。伊賀市の児童の解答は、1⇒68.5%、2⇒8.5%、3⇒21.9%でした。

「割合」と「量」をどう捉えているか、問題文を適切に理解し解答しているか、生活経験や他教科(例えば理科や家庭科)とのリンクがなされているかなど、考える視点がいくつもあります。各学校ですでに話し合われているかもしれませんが、分析と対応を具体的にを行い、授業改善につなげていくことが重要です。

10/25(火)の学力向上プロジェクト研修会でもお話があるかもしれませんが、まずは教職員の皆さんそれぞれで考えてみていただければと思います。あなたの学校では、どう授業を創っていきますか？本単元や本時だけでなく系統性も含めて・・・。

【2022年度伊賀市学力向上プロジェクト研修会】

- 1 日時・・・2022(令和4)年10月25日(火) 15:00～17:00
- 2 場所・・・伊賀市教育研究センター 大会議室
- 3 日程・・・14:45～15:00 受付
15:00～16:40 講演 演題 「伊賀市の学力・学習状況について(仮)」
講師 武庫川女子大学 教授 森脇 健夫さん
16:40～17:00 学力向上の取組について
- 4 参加・・・各校2名
管理職1名、学力向上推進担当者(教研推進委員)もしくは小5・中2担任1名

※本研修会については、9月16日付伊教学第1388号で通知(メール送付)されています。

盛り上がった！「ふれあいミニ運動会」♪

9月16日(金)、「ふれあいミニ運動会」を実施しました。子どもたちが自ら考え、企画・実行するという「成長の場」でもありました。教研センターの各機関にも案内状が届き、5名が参加してきました。

このミニ運動会のめあては「楽しさいっぱい 思い出いっぱい」でした。ハピネス体操で体をほぐした後、味方が持って動く箱に玉(アジャタで使う玉)を入れその数を競う種目【右上写真】、色のついたカードをひっくり返し



を増やしていく種目【左下写真】、走りながらいろいろなメニューや課題をクリアし最後はお気に入りのパンをゲットする種目を楽しみました。にぎやかな声が体育館に響き渡りました。



子どもたち自ら企画・実行する姿はとても頼もしく、成長を感じました。子どもたちとともに楽しむ大人たちにも笑顔があふれ、とてもにぎやかな時間となりました。

雑感：コロナ禍になり感染防止に万全を期しながらの「ふれあいミニ運動会」も3回目となりました。以前の運動会とは随分変わったようですが、コロナ禍ならではの工夫を凝らし、子どもたちが生き生きと活動する姿に大きなパワーをもらっています。私たち大人も一緒に活動することで連帯感が生まれています。毎回、音楽に合わせながらのリズミカルな準備体操に始まり、3種目を実施しています。子どもたちが分担を決めてそれぞれのチームで企画・準備・運営を行います。前回と同じ種目はなく新しい種目になるのが楽しみです。私事ですが、ミニ運動会の前々日に腰を痛め、恐る恐る参加した準備体操でしたが、その後の3種目に参加しているうちに腰の痛みがやわらぎ、閉会式では痛みを感じないくらいになっていました！